

日時：9月12日(木)18:00~20:00

講師：株式会社コングレ 顧問 **藤田 敏明氏**

テーマ：「これからのエンターテインメント事業には欠かせない
イールドマネージメントとは何か？」

世界のエンターテインメント業界では、今や当たり前になっている「イールドマネージメント」。この考え無しに「エンターテインメントビジネス」は、成り立たない時代に入っています。イールドマネージメント思考の真骨頂がLIVE NATION(マドンナ・ワールドツアー実施)で、彼らが行う世界ツアーはことごとく成功し、今や世界最大のプロモーターになりました。そんなイールドマネージメントの世界をお話します。

受講者募集中! >>> 弊社社員までお問合せください。9/5(木)まで受付。



藤田 敏明氏 プロフィール
都市開発、商業施設、集客事業装置(劇場・ミュージアム・シネコン・テーマパーク)の開発調査・企画・事業計画立案業務、エンターテインメントコンテンツのコンサルティング及び企画プロデュース。
都市再開発のエンターテインメント施設全般のコンサルタントであり、現在は株式会社コングレの顧問。

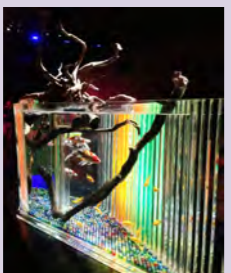
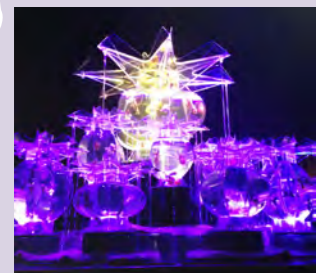
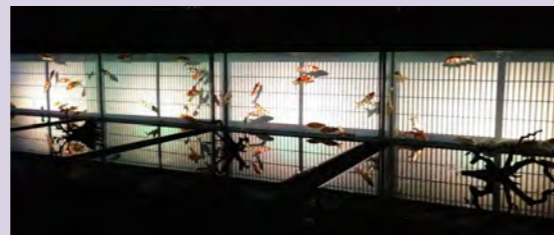
ECO EDO 日本橋 ダイナースクラブ

アートアクアリウム 2013 ~江戸・金魚の涼~ 7月13日(土)~9月23日(月)

昨夏、20万人を超える動員を記録した金魚の水中アートが日本橋に帰ってきました!!
小さな金魚たちが、ダイナミックかつ、芸術的な水槽の中で艶やかに泳ぐ姿は、この暑さを忘れさせてくれるほど「涼しげ」です。さらに、本邦初公開となる新作も多数登場なので前回ご覧になられた方も楽しめます。

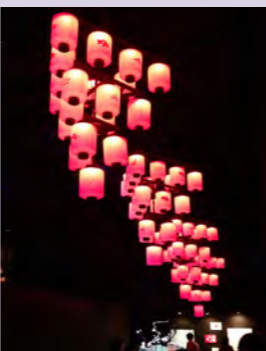


~ナイトアクアリウム~
同日期間中は、19時から会場の音楽と照明が変わりドリンクを片手に夜の日本橋を満喫することができます。ちなみに、日本酒の「瀬祭」は格別です!!
飲みやすく、後味すっきりです!



~そして!!~
「ゆかた・アートアクアリウム特典」があり、会場には浴衣姿のお客様もたくさんいらっしゃいます!!

アートアクアリウムで夏を涼しく過ごしてみてください!!



※アートアクアリウム 2013 について詳しくはこちら → <http://h-i-d.co.jp/art/> または「アートアクアリウム」で検索

※「ゆかた・アートアクアリウム特典」について詳しくはこちら → <http://h-i-d.co.jp/art/ticket/>

第16回

たまには休まれたらいいかがでしょう。

日光国立公園 那須岳

友人総勢6名で1泊2日、那須高原へドライブ。早朝6時に我家の車サルエクシーガで友人宅へ迎えに行き、いざ出発。向かうは、那須ロープウェイ。1390mの目的地には9時過ぎに着きました。山登りの準備をして、ロープウェイで山麓駅へ。さてそこから約6時間のハイキングコースへ。(うーん、運動不足を痛感)



COO代表取締役社長 **岩澤 二三夫**

那須岳(茶臼岳)は、日本百名山のひとつで那須にある標高1915mの山であり数枚の溶岩流、火砕流、頂部の火砕丘、溶岩円頂丘から成る成層火山である。1日目は早めにホテルにチェックインして、お風呂でゆっくりして、宴会へ。酒、酒、酒。朝風呂も気持ち良かったよー。



※那須高原・藤城清治美術館はお薦めです。



2日目は那須平成の森で散策。フィールドセンターを出て、行きは、森の中をぐねぐねと駒止めの滝を目指しハイキング。帰りは石ごころ足元注意コースで。往復約3km。最後につつじ吊り橋、長さ130m川からの橋の高さは38m。吊り橋からは茶臼岳、朝日岳が望めます。足をを進めるたびにゆらゆらと揺れる吊り橋ならではの魅了を味わえますよ。



土産は、扇屋総本店で。楽しかった1泊2日の今回の旅も無事終了。たまにはのんびりと生きていこうよね。



Executive Producer **岩下 日出雄**

ライブが最高!!
~時を超えるエンターテインメント~

戦後68年目の夏が終わろうとしている、当時の情報伝達の手段といえば新聞かラジオであった。その後テレビが生まれ人々の生活は一変した。プロレスや野球中継を見たいがために子供だけでなく大人までもが家路を急ぐようになった当時のテレビ局は、まだまだ力不足でありスポーツ中継とニュース以外はアメリカの番組に頼るところが大きく、今思えば期せずして日本の大衆にアメリカ文化の洗礼を与えたことになる。また我日本人のその吸収力たるや凄まじく、ドラマ音楽番組、バラエティとその全てを学び自局の番組制作に反映させたのであります。「夢で逢いましょう」「光子の窓」「ジャボン玉ホリデー」

他多数の番組が生まれ、そして消えてゆきました。1980年代にインターネットが出てくるまでは、テレビの黄金時代は続くわけですが。そして2013年、時代はSNSなくしては過ごせない人々でいっぱいとなり、電車や地下鉄の中でも指を横滑りさせる人で溢れています。コミュニケーションのシステムは、これからも変化し続けるでしょうが、68年経っても変わらないものがあります。それは、歌舞伎や寄席などの日本のライブであり、オペラやジャズなど欧米風ライブ、そう！エンターテインメントプロジェクトが最も得意とするエンターテインメントの世界なのであります。来るべき高齢化社会に向けて、今こそ我々のパワーを集結させて優しさやホスピタリティといったビジネスモデルを構築していこうではありませんか。

「ジャボン玉ホリデー」



「夢で逢いましょう」



ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行：株式会社エーディープロジェクト 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 共同ビル

www.adproject.co.jp

皆様の いいね! をお待ちしております。

facebook adproject 検索
もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>

~プロデューサーへの道~

夜明けの Entertainment 第22回



CEO代表取締役会長 **檜垣 俊幸**

パラダイムの急変と問題解決!

■何が終わり、何が始まるのか?
地球も、政治も、暮らしも、芸術も、文学も、新旧交代の激しさが増えています。それは、地殻変動のごとく、基盤の変動によるものです。その基盤とは、私達を支えているパラダイムを言います。
時代を支配する考え方や規範は、地球のマントル対流の様に常に動いています。そしてその対流はある時、地殻にエネルギーを溜め、急激な地殻変動である大地震を起こします。丁度、この時期に当たるのが今日です。即ち、物の考え方や、人々の喜び、求める方向性が、これまでとは異なった方向であるベクトル・チェンジと有効生存領域であるドメイン拡張が基軸となり、これまでの人々とはコミュニケーション・ワードの異なる人々が登場してきます。それは、「新しい」という言葉ひとつとっても、その意味合いが異なる人類です。新人類ではなく、生きる為のパラダイムが異なる人類なのです。これはもはや、宇宙人の登場なのです。そして、これら宇宙人が着い星、地球を支配する時代になってゆくの。我々のエンターテインメントやポジティブ・マインドの拡張においてもその使命や役割も大きく変化します。まず、これまで築き上げた文化・芸術・科学など全てのカテゴリーがなくなり、概念の瓦解が始まります。さらに、全知全能の神学が構築され、地球星の感性と言う通信言語が生まれ、共通の感動振動が生じます。それは、「もっと」の上の概念であり、原体験の異なる宇宙人の様な感性です。わかり易く言えば、地球を司る異星人の登場であり、「地球ひとつ」の共通利益概念の基に暮らし始めるバージョンの異なる時代に突入したと言う事でもあります。故に、私達の使命もバージョンの異なる使命を模索しなければなりません。マーケティングの次にある使命価値へのバージョンチェンジを時代は要求しています。これまでの唯物的な視点からの推知ではなく、感

世界のモデル

モデル: Yonique M. / Height: 175cm B: 80 W: 57 H: 84
事務所: ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

性的な視点からの推知を評価とした美的価値評価が全ての評価軸となり、未知数の戦略、即ち未来戦略チャートのフォーマットが必要となります。戦わない感性戦争の時代になるという事、これが次世代ではなく異世代の価値概念になります。

■異世代を司るポジティブ・マインド

この星の神経経路である情報伝達ネットワークは整ってきました。次に行われるのは、それぞれの国々が、心臓、胃、腸などの役割をもった臓器的機能国家として進化する時代となります。明確なプロトコルを持った星に仕上げられるのは異星人です。彼らは宇宙人と思われる超進化能力を有しています。

また、想像を絶するポジティブ・マインドで共感振動を発信します。次世代の皆さんは、この異星人、宇宙人と共存してゆかなければなりません。このことを肝に銘じて、ポジティブ・マインド拡張を使命としてください。残念ながら20年以上先の時代の話なので、私共は、お先に失礼いたします。

■「おもしろい発想」より「おもろい発想」
おもしろい発想は、人を感心させ、発想の転換をもたらしますが、「おもろい発想」は、他人に話したくなる「もっと」の拡張因子を持っています。この先は、その場限りの楽しさを後に引かないライト感覚のストレスのない発想が主流になります。

世界の彫刻物

~南フランス・ニース~
サッシャ・ソスノ (Sasha Sosno)

「叫び」を表現した彫刻、Exclamation (1995年作)。野外彫刻物が得意なソスノは、エクスクラメーションマーク形の穴の背景にある、遠くの景色を愛おしそうに見つめ、山歩きが好きで自然に対する愛着と、自身の作品への愛着の両方をかみしめている。

おー! 自然が見える!



強い願望を持つと願いがかなうという効果で、人は期待された通りに成果を出す傾向があるそうです。自分には願望を。人には期待を。ピグマリオン効果で、成功を呼ぼう。

今月の一言

コピーライター **村野 文香**

願えばかなう、「ピグマリオン効果」。



adproject 公式 facebook を check

adproject がお届けするエンターテインメント情報を随時UP!!

営業本部 第1プロジェクト

鈴鹿8時間耐久ロードレースMOTOMAX2013 VICTORYブース

日時：7月27(土)～28日(日)
会場：鈴鹿サーキット
種類：企画・運営

伊藤 健翔



▶ VICTORYに乗れば、8時間なんて余裕？！

今月も引き続き、鈴鹿8時間耐久ロードレースの記事を書かせて頂きます。鈴鹿8時間耐久ロードレースとは、世界耐久選手権レースのひとつに組み込まれており、毎年7月下旬に行われます。バイク乗りの夏の風物詩として国内有数の集客を誇り、通称「鈴鹿8耐」または「8耐」と呼ばれ、多くの方に親しまれています。単純に言いますと、かなりアツ〜い時期に、バイクで8時間耐えるレースをしようぜ！という事です。屋外のブース出展者の方は、それ以上の時間を耐えています…前説はここまでとしまして、ここから本題です。先月は「JAFブース」をご紹介させて頂きましたが、今回は僕が担当致しましたアメリカンモーターサイクルブランド「VICTORY 試乗会」のご紹介と共に、現場を通じて学んだ事について書かせて頂きます。



←今回の試乗会で1番、素直に凄いと感じました。こちらは、「ヴィジョンツアー」という車種で、全長2629mm、重量394kg(乾燥重量)もあるモンスター級(※個人差がございませぬ)バイクが、こんなに倒して曲がれるんです。

二輪のレースイベントという中ではちょっと異色であるVICTORYですが、ド迫力アメリカンクルーザーの展示はかなり目立ちましたし、多くのお客様から「そんなに曲がれるの?」とお問い合わせがありましたが、VICTORYの実力はこちらをご覧になれば一目瞭然です。試乗されたお客様は、ご友人に勧めたり、先導を担当している二輪インストラクターと語る場面があったりと、僕も早く

大型二輪の免許を取って体験してみたいと思えました。出展ブースでは、最初は興味を示されているお客様にどのように話しかけ、どういう細かい質問をされて、プロの販売員ではない自分がどこまで通用するかが怖くて、初日の午前中はVICTORYのスタッフの方とお客様の会話を聞くことに集中しました。そこで気付いたのがまず、日本に上陸したのが最近で、まだ若いブランドの為、「どういったブランド?」から始まり、スペック→販売店の場所→他メーカーとの違いについての質問が多いという点です。これに気付いたことで、早速行動を開始しました。お客様と応対して気付いたのですが、プロの販売員はお客様が求めている答えをすぐに察知し答える事ができるのです。たった2日間で身に付くわけがありませんが、「全ては経験から」。貴重なプロの接客術と、灼熱の太陽を目の当たりにした2日間でした!!



営業本部 第4プロジェクト

路面電車?の旅 in 富山ライトレール

日時：ある日のできごと
会場：富山県富山市
種類：趣味

Producer
橋元 大輔



▶ インフラ+ソフト=“使いやすい”は街に活気を生む

LRT=Light rail transit=路面電車。日本ではかつて、東京、京都、大阪、神戸など大都市でも多く見られた路面電車。モータリゼーションにより東名阪では見られなくなりましたが、広島をはじめまだまだ多くの都市で見ることが出来ます。そんな中、世界でも珍しい路線を今日は紹介しようと思えます。富山ライトレール富山港線は、北陸本線の富山駅と岩瀬浜を結ぶ8kmの路線で、1924年7月23日に私鉄の富岩鉄道として開業しました。その後、富山地方鉄道富岩線となりますが、沿線が工業地帯であったことから戦時下の1943年6月1日に国有化され、1987年4月1日に国鉄民営化によりJRへと引き継がれました。しかしながら工業の海外移転などで利用者が低迷し廃止の岐路に立たされ、富山市の政策として「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」が提唱され、普通鉄道から路面電車化することで利用促進を図ることになり、2006年4月29日にJRから移管され現在の姿となりました。JRから移管され、運転本数の3倍増、終電の大幅繰り下げ、低床化(バリアフリー化)、接続バスの充実(フィーダーバス)等の改良を行い、結果利用者は、JRの最終年度(2002年)の3400人/日から4400人/日へ約30%増となり、全国で2位の自家用車保有率の県の中で、予想(4000人/日)を大きく上回る利用実績を出しています。この成功を見て、全国の自治体からも視察が相次ぐなど、注目度の高い路線となっています。

私たちエディープロジェクトは「ソフト」を提供する会社ですが、この事例は、真に時代のニーズに合わせた発想の転換が結果に結びついた好例と考えています。ちなみに下の写真をご覧ください。駅のベンチに開業当時出資された方のメッセージリーフがあります。愛着を持っていただく「ソフト」面からのアプローチとして良いことろみだと思いませんか?是非一度は…!



降りたらずそこにバスが来ている岩瀬浜駅



営業本部 第2プロジェクト

食=Entertainment

▶ ミラノ万博に行きたい!!

「タパス モラキュラーバー」というレストランをご存じですか?「食」に留まらない「エンターテイメント」が繰り広げられるこのお店は、マンダリンオリエンタルホテル東京の3階にあります。ここ何年かで、大きく料理界で馴染み、認められてきたエスプーマや液体窒素、それにアルギン酸といった化学的手法を使用した料理がここで楽しめます。…なんだか、こうやって言葉で説明してしまうと美味しくなさそうだし、実際にこれから行こうと思っている方にはこの記事自体読まずに体験してもらいたいとも思うのですが、書いちゃいます。

↓下の2枚の写真、これが何か分かりますか?



なんと、「お味噌汁」と「お蕎麦」です。温かな球体をひと口で口に含むとプチッと破裂して口の中でフワッとお味噌汁が完成。カラスミの枕においてある先端から2メートルあるジュレ状の蕎麦を一気にすすると、泡がフワッと口の中で膨らみと共広がるといって、なんとも不思議で楽しい料理たち。こんなマジックのような世界が20品、パークウインター越しに次々に展開していきます。私がこのお店を知ったのは、世界一と称賛されるスペインのレストラン「エル・ブジ」の天才料理人、フェラン・アドリアを知ってからです。「人の五感すべてに働きかけ、さらに、“人の脳をびっくり

Producer
宮崎 詩子



させる”料理」と多くの人に評され、1年に200万件もの予約がきていたという憧れのこのお店は、残念ながら昨年の夏に閉店してしまいました。ただ、とても幸運なことに、私は2009年に開催された世界料理サミットでアドリア氏にお会いすることができたのです。

デモはされませんでした。彼のプレゼンテーションを生で聴くことができました。すきやばし次郎に行っても感動した話や、日本の食材の話もたくさん聞きました。フェラン・アドリア氏は、日本の食材である柚子を世界に広めた人でもあります。この会場でも日本の味がトップシェフ達によって更に発信され、新たにグローバルスタンダードになる“Japanese Taste”が生まれるきっかけになったのではないかと感じました。タパスもまた、フェラン氏が世に広めた前衛的な調理法と、和の融合を堪能できる店なのです。

2015年には、“食”をテーマに掲げ、イタリアでミラノ万博が開催されます。日本政府も日本館出展を表明しています。食すこと、作ることに興味のある私は必ず行こうと決めています。関係者の方、食に興味津々の私を、どうかミラノ万博に連れて行ってください♡
2005年の愛地球博での経験
MILANO 2015
ミラノ万博2015 開催テーマ
「地球上に食料を、生命にエネルギーを」

営業本部 第3プロジェクト

大田区平和都市宣言記念事業 花火の祭典

日時：8月15日
会場：多摩川河川敷付近
種類：総合管理

浦山 善明



▶ 他人事では終わらせない

大田区が、昭和59年(1984年)8月15日に世界の恒久平和と人類の永遠の繁栄を願って実施した「平和都市宣言」を記念し、毎年8月15日に行う「花火の祭典」。26回目を迎える今回も、総合管理という立場で携わらせて頂きました。今年は、茨城県での花火の引火による火事や京都の露店爆発事故など、花火大会の予期せぬ事故がいくつ起こりました。そのため、今回「花火の祭典」を迎えるにあたり、危機管理のあり方について大田区の担当者と一緒に考える時間を頂きました。

まず、そもそも事故を起こさないようにすること。また、起こりうるリスクを考え、事前に対処する。今回の花火で例を挙げると、花火の火の粉による火事を防ぐため、火の粉が落ちるであろう場所には散水を行うのですが、今年は花火による引火が原因で火事が起こった事もあり、例年より散水の量を大幅に増やしました。

次に、事故の可能性を未然に防ぐための情報伝達体制を作ること。情報の流れを1本化させ、意思決定者までの情報伝達の迅速化を図りました。誰が情報を集め、誰が伝え、誰が判断をし、誰が対応にあたるのかをより細かく明確に設定することで、迅速に物事に対応できる組織を作りました。

今回「花火の祭典」では大きな事故は起こりませんでした。いつ起こるか分からない事態に万全を尽くしておくこと。そして、トラブルが起きてしまった最悪の事態を想定し、目をそむけるのではなく積極的に考え実行することの重要性を改めて感じました。



営業本部 第5プロジェクト

お店を開きたい方必見!!

NOODLE WORLD 2013

第8回 ラーメン産業展 / 第4回 そば・うどん産業展 / 第4回 パスタ産業展

日時：8月5日(月)～7日(水)
会場：東京ビッグサイト

▶ 麺類に特化した日本最大の専門展示会!

全国から粉・麺・具材・スープなどの食品から、レジスター・食器・看板などの設備・備品まで、麺業態に欠かせない商材・サービスが集結。既存の麺業態店舗はもちろん、新規メニューとして麺の導入を検討する他業態の方にも! 本年で4回目の開催です。2010年～11年は、横浜パシフィコ横浜で開催。昨年より、東京ビッグサイトに移って開催。より入場者が増えました。第1回より、関西のマシン会社からの要請でお手伝いをしています。この展示会は、下記のような関連業態の展示会と共同開催のため、1度にはいろいろなものが見れるのも特徴です。

Producer
平田 元春



INTER-FOOD JAPAN 2013

第6回 居酒屋産業展 / 第2回 日本全国名産品・特産品展 / 第5回 飲食店開業支援展 / 第2回 ホテル・日本料理産業展 / 第1回 カフェ・喫茶産業展 / 第3回 店舗環境改善展 / 第4回 販促・店舗装飾EXPO



飲食店・居酒屋・ホテル・旅館・BARなど、様々な外食業界に関わる皆様必見です!販売促進・多店舗展開・業態変更に必要不可欠な、食品・飲料・設備・備品・販促品などの商材・サービスが揃います。

昨年は、横浜からの移動開催のため来場者が増加し、本年も更に増加した模様です。今後の来場者の増加が期待されます。各種業態にまたがっているために、若干散漫になっているところもありますが、今後、参加企業が増加すると良くなっていくと思われまます。この様な食関連の展示会は、幾つもありますが、開催初期は同じような感じでしたが、現在では大きくなって発展しています。今後に期待するものがあります。

外食業界の要望に応えて、ついに専門展示会を開催!! 第4回 カフェ・喫茶産業展

本年より、カフェ・産業展が共同開催になりましたが、まだまだ参加は少なく、大手1企業が大きくスペースを取りイベントスペースと一体化していました。今後の参加企業の拡大が望まれます。



第3回 ~たった50分で代謝UP?!~

石川 華奈子

~脂肪吸引との違い~

通常の脂肪吸引に比べ、切開をしないので傷も残らず、身体への負担が少なく済みます。ダウンタイムという、通常の生活に戻るためのちょっとしたりハビリもありません。吸引後もすぐに、通常の生活をする事ができます。そして、何より違うのは... お値段!! 脂肪吸引だと1ヶ所で平均30万円のところが、冷凍痩身は平均10万円と3倍の差があります。今回は、体験だったので半以下の値段でした(ラッキー!!)。"体への負担もなく、痛みもなく50分寝ているだけ"というのはうれしいものですよ!!

~冷凍痩身とは?~

痩せたい部分に、掃除機のような吸い込み口をあて、50分間寝ているだけです。水分は凍らず、脂肪だけが凍る"4℃"で、吸い上げた部分の脂肪細胞を凍らせて破壊するのです。破壊した脂肪細胞は代謝によって体外に排出されるため、代謝がUPし太りにくい体質にもなります。

↓これをあてるだけ!!

体験をして、痛みもなく「冷たい!!」という感覚もありませんでした。ただただ寝ているだけで気づけば50分過ぎていたという感じで...。終わった後も、感覚は何も変わらず、吸い上げられた部分を触ってみると「シャリシャリして〜!!」っとビックリでした!!

デメリットとしては、結果が見えるのは2週間後からということ...。まだ、見た目には出ないものの、代謝が良くなり汗が以前に比べ、滝のように出ています。すごい!!

気になった方は、是非体験してみてください!!